

# THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

## 東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2017.09 >

BULLETIN

2017年7月～2018年6月



国際会長  
アジア会長  
東日本区理事  
関東東部部長  
クラブ会長

Henry J Grindheim「ともに、光の中を歩もう」(ノルウエー)  
Tung Ming Hsiao「ワイズ運動を尊重しよう」(台湾)  
栗本治郎「広げようワイズの仲間」(熱海)  
長尾昌男「義務を果たして、クラブと関東東部の活性化を図ろう」(千葉)  
浅見隆夫「親睦なくして奉仕はない」(グリーン)

会長 浅見 隆夫  
副会長 西澤 紘一  
書記 目黒 卓  
書記 布上征一郎  
会計 平林 正子  
会計補佐 佐野 守  
監事 柿沼 敬喜  
担当主事 松本 竹弘

### 9月 スポーツの秋

「神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。」

<スポーツ選手のように、人生の目標を目指して、ひたすら走っていきましょう。>

(フィリピの信徒への手紙3:14)

### 2017年09月 第一例会

### ユース強調月間

日時:2017年09月20日(水) 18:30～20:30  
場所:千代田区和泉橋区民館 2階  
千代田区佐久間町 1-11 TEL03-3253-4931  
受付:平林君/司会:西澤君

クラブユース事業委員長 西澤 紘一

開会点鐘  
ワイズソング・ワイズの信条  
聖句・お祈り  
ゲスト・ビジター紹介  
食事 (一言添えてニコニコ献金)

浅見会長  
全 員  
古平君  
浅見会長

メンバースピーチ  
浅見隆夫君

卓話「蛇の話」

YMCA 情報  
Happy Birthday<西澤君・早瀬君  
早瀬君・佐野君

松本君

4名>

ニコニコ発表  
閉会点鐘

浅見君  
浅見会長



今年もユースボランティアリーダーズフォーラムに参加した。今年は30回目を迎えると言うが、年々工夫と進化の跡がある。以前は、ワイズが資金的支援はするが、活動そのものに対しては

そっと見守ることが常であったが、最近は、ワイズとユースの交流を積極的に進めるプログラムが組み込まれている。初日のアイスブレイキングゲームではユースとワイズが一緒に楽しみ、中でもワイズが一番嬉々としていたようだ。恒例のユースのためのワイズ製カレーライスもなかなか評判が良く、ワイズとユースがテーブルを囲んで一緒に食することも自然になってきた。お互いに遠慮がなくなり、年の差を超えて理解しようという姿勢が目立つ。ワイズが支援するせいかのいい機会を一過性にしないで、各クラブが例会活動の中に生かしてゆくように努力をしたい。昨年は、現役学Yメンバを例会に招待して懇談したことを思い出す。

\*クラブ設立45周年のお知らせをワイズの皆様に送信致しました。来年の成功に向かって今から準備しましょう。

【例会出席率】 在籍:17名(含広義会員1名) メーキャップ 2名 出席率 14/16 88%

出席:8月例会 (グリーンメン 12名、メネット 3名、ビジター3名)計 18名

【ニコニコ】 8月例会 0円 今期累計 11,000円

<2017年08月 納涼例会 報告>

日時:2017年8月16日(水) 18:30~21:30

場所:浅草橋「ベルmontホテル/ラコント」

台東区柳橋 1-2-8 Tel : 03(3864)7733

出席:青木・浅見(隆)・浅見(ク)・稲垣(勝)・柿沼・古平  
佐野・新倉・西澤・西本(東)・布上・平林

(ビジター)長尾昌男 関東東部部長 公式訪問

衣笠輝夫 関東東部ユース事業主査

布上信子 関東東部メネット事業主査

(メネット)稲垣(重)・西本(晃) (ゲスト)林繁一

受付:浅見クミ子/会計:平林正子/司会:青木方枝



2017年8月16日に浅草橋:ベルmontホテルに18名の皆様にお集まりいただき、和気藹々、納涼例会を行った。本日、公式訪問として長尾関東東部部長、衣笠ユース事業主査にいらしていただき、またクラブの布上信子はメネット事業主査としての出席となった。

正式に浅見会長の開会点鐘、古平メンの聖書朗読に続いて長尾部長のご挨拶。



【この度、第21代目の関東東部部長をお引き受けすることになり、部長主題を「義務を果たして、クラブと関東東部の活性化を図ろう」とさせて頂き、活動方針は『明日のワイズメンズクラブのためには、クラブの活性化が必要です。そのためには、ワイズの信条にある「義務を果たしてこそ、権利が生ずることを悟ろう」を覚え、クラブの活性化につながる行動をしましょう。そして、クラブ間の連携を更に強め、関東東部の活動強化と活性化を図る。』としました。

第21回の部会は、9月30日千葉市美術館のさや堂ホールです。この時期の展示会は「ボストン美術館浮世絵名品展」のようです。千葉の地の美術館で芸術の秋も感じて頂ければと思います。皆様、よろしくお願ひ致します】。

長尾部長のご挨拶、衣笠主査のご挨拶のあと、乾杯の音頭は、この会場を紹介していただいた新倉健司 船宿:三浦屋社長にお願いした。

新倉社長には10月14日の第76回神田川船の会で、今回は浅草橋:三浦屋 発着場からクルーズをスタートさせる新企画にご賛同いただいている。成功させたい。

クラブメンバーが一斉に集まり、公式な宴会等をするのは、年間3回、新年例会・納涼例会・クリスマス会であるが、やはり、このように全員で集まれば、特に大きな議題はなくても話は弾む。この「親睦」こそ、ワイズクラブの原点であり、浅見会長のテーマ「親睦無くして奉仕はない」を実感する時である。

西本メン、メネットとも、お揃いでご参加いただいた。



Happy Birthdayは  
7月 新倉健司メン  
布上信子メネ  
8月 浅見隆夫メン  
に粗品進呈。

皆さん十分にアルコールも食事いただき大満足です。秋以降のYMCA・ワイズイベントに楽しみながら参加、協力していきましょう。(布上 記)

\*\*\*\*\*

<2017年08月 臨時特別例会 報告(抜粋)>

日時:2017年8月2日(水)18:30~20:30

場所:千代田区和泉橋区民館 4F

出席:青木・浅見T・浅見K・稲垣・柿沼・古平・佐野  
新倉・西澤・西本T・西本A・布上N・布上S・平林  
松本・目黒(メン14名、メネット2名出席)

1. 配布資料

\*東日本区ロースター/ \*チャリティラン チラン  
\*理事通信7・8号2 (クラブ員集合8:30)

2. 報告

\*ユースボランティア・フォーラムの件 9/8-9 山中湖

3. 議題

\*東京グリーンクラブ会則変更の件

第2例会を第一水曜日に第3例会(神田川委員会)と併せて開催し第1例会を第三水曜日に開催する。

\*クラブ設立45周年記念例会開催の件

今回の45周年行事を行うにあたって、数名の役員間の持ち回りで決定され、クラブメンバー全体の意見を確認していないのではないかと一部のメンバーから異論が出て、今回臨時特別例会を招集し多数の出席者の意見を確認、改めて賛同を得て45周年記念例会を行うことに確定した。(布上 記)

東京 YMCA 夏まつりに参加



2017年8月26日(土)東京YMCA東陽町センターにて恒例の「夏まつり」が開催された。東京YMCAの全センターからの会員が例年通りだが模擬店で活躍、今年もまた、設営や販売のため、ウェルネスセンターを利用する学生や、にほんご学院留学生、清泉女子大学生Yの皆さん、大勢の若者たちが大活躍。グリーンクラブは恒例、フランクフルト焼きと、もろきゅうの販売だが男女2名の留学生が熱い鉄板の前でフランク焼きに頑張ってくれた。

まだまだお客さんで賑わっている14:00にはフランクの完売！(写真)。クラブからの寄付金は22,640円を進呈。

ジャズバントの演奏会の後のラッフル抽選会では、グリーンから提供の「第76回神田川船の会」2名様ペア招待乗船券をゲットしたのはサンライズクラブの御園生ワイズ、にほんご学院の小野校長の2組だった。

クラブ参加:青木・浅見T・浅見K・佐野・柿沼・布上S  
布上N・平林 (布上 記)

\*\*\*\*\*

障がいのある子どもたちのための  
「第31回東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン」

# 31st TOKYO YMCA International Charity Run



日時 2017年9月23日(土・祝) Saturday, September 23, 2017  
場所 木場公園内特設コース Kiba Park, Tokyo 東京都江東区木場4丁目 Kiba 4cho-me, Koto-ku, Tokyo

▼第31回インターナショナル・チャリティーラン

9月23日(土・祝)、江東区木場公園にて第31回インターナショナル・チャリティーランを開催します。

インターナショナルチャリティーランは、参加費で障がいのある子どもたちを支援するとともに、“障がい”への社会的な理解と関心を高めることを目的とした駅伝大会です。ランナーとしての参加だけでなく、コース誘導や会場設営など多くのボランティア参加が必要です。(主事 松本)

グリーンクラブからは今回も、ラッフル抽選会の景品として10/14の第76回神田川船の会への「ペア招待乗船券」を2組、計4名様に差し上げております。

クラブの参加者は木場公園に8:30に集合して設営などをお手伝い下さい。グリーンのお役目は例年通り、会場警備及び荷物預かりの役目です。(布上)

\*\*\*\*\*

第30回 Y V L F に参加して

9月8日から10日まで山中湖キャンプサイトで第30回ユースボランティアリーダーズフォーラムが開催された。当日の午後は、大気不安定さからか猛烈な集中豪雨に出くわし、バスで来たユースの参加者も面食らったようだ。

しかし、夕方からは薄日が差す状態で、キャンプ中は富士山は雲隠れしていたが天候には恵まれた。今年の基調講演者は、神崎清一YMCA同盟総主事が務められた。YMCA活動の中心的センターであった京都YMCAのトップをさせていただきあって迫力があり訴求力があつた。講演途中でペーパーが配布されて『あなたの自宅の庭やベランダで今どんな花が咲いているの知っていますか?』・・・日常の中で見逃しそうなの気ないことに気が付き、思いをはせる心の余裕を持っていますかとの問いであった。同でもいいことにあたふたして、自分に得になるかどうかだけで行動しがちな我々に対する警鐘でもあつた。最後に日本、中国、韓国のYMCAに連なる人たちで『平和とは』を議論していることを紹介していただいた。爆弾が落ちてこない・・・などに加えて、『生まれてきて良かった』という言葉に深い感銘を受けた。YMCAがいつの時代にあつても平和のシンボルであることをもう一度再認識させられた。



このフォーラムでは、参加者の年齢差からみるとワイズ側は祖父母の世代、ユース側は孫たちの世代との関係に似ている。ともすると共通の話題がなく、物理的な交流が困難に見えるが、同じ時間、同じ場所で2-3日間生活を共にすることは、何となく本当の祖父母と孫との疑似体験ができる。何が夢なの? どんな仕事したいの? と問いかけると昔のキャンプはどうだったのですか? との質問が出る。そこには、YMCA共同体が形成されていることを実感する。

いつも思うことであるが、8日から10日まで、ユースボランティアユースフォーラムが山中湖で開催、同時期、9日から11日には、東山荘で全国学生YMCA夏季学校が開催されている。同じYMCAにつながる若者同士の交流にも力を貸したいと願う。彼らが社会に出ても、若いころの活動を思い出し、都市YMCAにつながったり、さらにワイズ活動の扉を叩いてくれる可能性があると思うからである。(西澤紘一 記)

\*\*\*\*\*

Happy Birthday

09月 西澤 紘一(メン) 佐野 弘子(メネット)  
早瀬 仁人(メン) 早瀬 弘美(メネット)

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

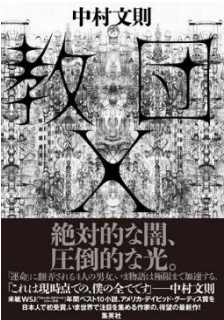
クラブの円滑な運営のため、年会費をお納め下さい  
(2017-18年度 会計:平林正子)

みずほ銀行・戸越支店(普通 2208674)

(口座名)東京グリーンワイズメンズクラブ

\*\*\*\*\*

## 第38回『教団 X』 中村文則（集英社、2014年）



2017年、文庫版で再出版され、現在そこそこのベストセラーの仲間入りをしている。いかにも硬い題名であり本屋で思わず手に取る本ではないが、昨今の宗教ブーム、またオウム真理教事件から20年余経過し、人間の生き方についての見直し気分が本書を世に押し出したような気がした。

この物語は、カルト教団 X (教祖沢渡は、殺人事件を起こして公安から追われている元医師)と、哲学・倫理を説くアマチュア思想集団 (カリスマ指導者松尾の周りに自然に人が集まる集団)の2つのグループの対比で進行する。

教団 X は、教祖を中心に独断的・独善的な考え方で凝り固まり、いわゆる世直し計画を進める。オウム真理教を下敷きにしているようだ。教祖沢渡は、自己容認ができず、居場所も無い孤独な若者を宗教的強大な力で引き込み思考停止状態に導く。その中心がセックスであることが切ない。一方のアマチュア思想集団では指導者松尾が幅広い知識と経験を介して、この世が合理性つまり科学と哲学で割り切れるものだと説論する。古代仏典のスタニバータ、古代ヒンズー経典のリグ・ベータなど3000年前の哲学を引用するばかりか、原子論、量子論、宇宙の起源や人間の存在(素粒子の集合体)などの科学的合理性にも触れる。松尾の哲学の基本は、「人間の肯定」である。

しかし、この物語を読んでゆくと、この世が、全て「白い善なる集団」と「黒い悪なる集団」に峻別できる訳ではないことが分かる。実は、沢渡と松尾が戦後混乱期に同じ師から薫陶を受けたことが分かる。善と悪が同根であり、互いに補完関係にあることが示される。いわば、ドフトエフスキーの世界である。

善良だと思われる人間が、ある時突然悪の権化のような存在に変化することがある。戦場で死と向き合った兵士、作業中に仲間を裏切る戦犯、金と権力の支配下に身を売る・・・など、誰にでもその危険性はある。一方、悪の権化が聖人化する事例も枚挙にいとまがない。

あらすじは、檜崎が元恋人の立花涼子を探して松尾グループを訪ねることから始まる。松尾グループに居た涼子が教団 X に取り込まれたことを知り、救い出すためにいろいろな冒険をする。最後に、教団 X の沢渡の最終目的が「滅び」であることが判明する。最終節では、武装した沢渡の教団 X が建物に立てこもり時の権力(警察)と対峙する。沢渡の滅びの美学に対して、松尾らが「共に生きましよう」と対抗する。彼と運命を共にする若者を救い出すことに奔走する松尾夫妻の動きが救いである。悪の究極と善意の対極が、実は同根であることを示し、悪の権化の先にも希望があることを暗示して物語は終わる。

文庫本600頁の大作であるが、読み応えはある。

(西澤絢一 記)



元オリンピック選手松田丈志さん（写真中央）といっしょに

### ▼全国 YMCA 少年少女水泳大会

第 41 回となる「全国YMCA少年少女水泳大会」が 8 月 17～18 日、千葉県国際総合水泳場で開催され、全国 23 カ所のYMCAから 247 人の子どもたちが参加しました。今年YMCAが日本初の室内温水プールを設立して100周年の記念大会であり、多数の来賓から祝辞をいただいて開会。元日本水泳連盟会長(現知的障害者水泳連盟会長)の佐野和夫さん。元オリンピック選手の松田丈志さん。フィンスイミング日本代表選手の池口貴雄さん・フィンスイミング元日本代表選手の尾形蘭さん。それぞれ激励の言葉をいただいたほか、デモンストレーションもあり、子どもたちにも良い記念になりました。また特別イベントとして『松田丈志選手と泳ごう!』も開催。全国の選抜選手 28 人がリレーチームを組み、松田選手と対戦しました。東陽町センターの選手 2 名が泳いだチームはみごと松田選手に勝利し、松田丈志賞を受賞。競技の間には『フィンスイミング体験会』も行いました。今大会では東京YMCAからは、小 2～高 3 の 58 名の選手が出場。特別練習会を重ねて準備した結果、自己ベストを更新したり、メダルを獲得するなど、それぞれに成果を発揮。男子総合 3 位・女子総合 2 位・男女総合 2 位の結果を収め、100年記念の刻印がされたメダルをもらうことができました。また、エキスパートクラスの白井遼君は通算 4 回目の最優秀選手賞を受賞しました。会場には100年の歴史を綴ったパネルが展示され、先達が開拓してきた道を振り返ると共に、次の時代への新たな一歩を踏み出す大会となりました。

～以下は3ページに詳細を掲載してあります(布上)～

▼8月26日(土、)東京 YMCA 夏まつりに東京 YMCA の全センターの会員が多数ご参加いただきありがとうございました。

▼第 31 回インターナショナル・チャリティーラン  
9月23日(土・祝)、江東区木場公園にて第 31 回インターナショナル・チャリティーランを開催します。

(主事 松本竹弘 記)